

富富富 特報



まもなく、「富富富」の刈取り時期を迎えます。
適期刈取りと適正な乾燥調製で、「胴割粒」の発生防止と適正水分に仕上げ、「富富富」ブランドの確立を図りましょう！

1. 水管理

～早期落水は行わない～

- ・刈取りの5～7日前まで間断かん水を行い、稲体の活力維持と胴割粒の発生を防ぎましょう。なお、フェーン現象が予想される場合は、事前に入水しましょう。

※かけ流しは、農業用水の有効活用を図るため、絶対にしないでください。

2. 収穫

～籾黄化率を確認して、適期に刈り取る～

- ・籾の黄化率が80～85%を目安に、刈取りましょう。

【刈取り開始時期の目安】

出穂期	刈取始め
7月28日	9月5日～9月7日頃
8月1日	9月10日～9月12日頃
8月5日	9月15日～9月17日頃

- ・コシヒカリに比べ、籾の黄化にバラツキが出やすく、急激に黄化しやすいので注意が必要です。
- ・刈取り作業は計画的に行いましょう。

●：黄化

◐：黄化直前

○：緑色



籾黄化率 80%

3. 乾燥調製

～「過乾燥米」による胴割粒の発生防止～

- ・胴割粒の発生防止のため、乾燥速度は毎時0.8%以内を基本とし、初期の籾水分が高い場合（25%以上）や低い場合（20%以下）は、毎時0.6%以内とし、二段乾燥や送風温度を下げるなど、ていねいな乾燥に努めてください。
- ・青米の混入程度により、停止水分を設定しましょう。

【乾燥機停止水分の目安】

100粒中の青米粒数	0～5粒	6～10粒	11粒以上
乾燥機停止後の水分変化	乾く(-0.5%)	変わらない	もどる(+0.5%)

- ・玄米水分は14.1～15.0%に仕上げましょう。玄米水分が17%以下になったら、手動水分計でこまめに測定し、過乾燥米の発生を防止しましょう。

※フレコン出荷の場合は、14.1～14.5%に仕上げてください。

- ・未熟粒などの混入を防ぐため、1.9mmのふるい目を使用するとともに、色彩選別機を整備している経営体は、積極的にその活用を図りましょう。